

健生くらぶ

朝倉健生病院 基本理念

患者様の人格・権利を尊重し信頼され、
愛される病院を目指します。

専門知識、技術の修得に努め、
質の高い医療を目指します。

地域に求められる、
24時間安心できる救急医療を目指します。

医療連携を図り、
地域医療中心の医療福祉を目指します。



院内部署紹介 地域医療連携室



地域医療連携室は、地域の医療機関との連携を図り、高次医療機関から、診療所・クリニックまで、スムーズな患者さんの転院・治療ケア、リハビリテーション、そして、在宅までをバックアップするための、機能セクションです。当院では、現在看護師2名により、その活動を行っています。また、院内では、病床管理の活動も行っています。

実際の地域医療連携には、ソーシャルワーカー・訪問看護師・訪問リハビリ・ケアマネージャー等が、密に関わっており、患者さんの早期の在宅・社会復帰ができるよう、援助を行っています。

転院・訪問看護・在宅医療等、困っていること、わからない事がある患者さん、ご家族の方があれば、遠慮なく、どんどん御相談ください。

CONTENTS

目次

Page 1

病院の基本理念
院内部署紹介：地域医療連携室

Page 2

新任先生紹介：本村 Dr
糖尿病教室の紹介

Page 3

健康コラム：
整形外科 古賀隆弘

Page 4

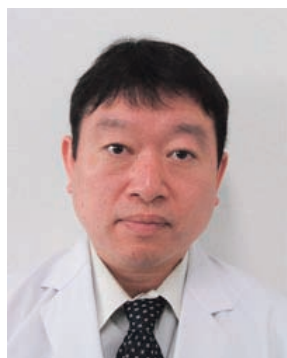
中学生職場体験、あとがき

医療法人社団 医王会

朝倉健生病院

発行日／2012年(平成24年)4月11日 発行者／医療法人社団 医王会 朝倉健生病院
〒838-0068 福岡県朝倉市甘木151番地4 Tel.0946-22-5511(代) Fax.0946-22-1200 URL:<http://www.a-kensei.jp>

新任医師紹介



内 科
本村 学

2011年11月より一般内科として勤務しております。Common diseaseを主体に診療を行っております。近年、病気の検査や治療は飛躍的に進歩し、低侵襲で診断・治療が可能となってきています。一方で、医師にとっては多岐にわたる高度な医療技術を数多く習得することは困難となりました。その結果、専門化が進み、大学病院では高度の医療技術は提供できても専門分野以外に目を向けられない医師が多く存在するのも目にしました。患者さんが抱える他の疾患が放置されたり、たらいまわしといったこともおきています。患者として医療機関を受診するときに一番期待することは、自分が抱えた病気に対して最良の結果が得られるための道標、選択肢を示してもらい、実際に最良の治療が受けれることだと思っています。そのサポートをしていきたいと考えています。

～ 糖 尿 病 教 室 の 紹 介 ～

平成24年2月16日(木)に梅谷洋介医師による糖尿病教室が開かれました。第3回となる今回は「糖尿病3大合併症」について勉強をしました。

皆さんは「しめじ」と聞いて何を思い浮かべますか？家庭で食すキノコ類の「しめじ」ではなく、この「しめじ」とは、糖尿病3大合併症が発症する器官のことを指します。

つまり…【し…神経、め…眼(網膜)、じ…腎臓】のことなのです。

糖尿病は、痛みを感じるなどの自覚症状がないため中々気付けない病気です。そのため、気付いた時には病状が進行してしまうケースが多いです。そんな状況に陥らないためには、早期発見、早期治療がカギとなります。

今回は、糖尿病になるまでの初期症状から、重症になるまでの一連の流れを確認しました。病気の進行を防ぐためには、医師の診察を早期に受け、糖尿病について正しい知識を身につけ、自身や周囲の人間の協力のもとで、体を守ることが大切です。

毎月第3木曜日に当院で糖尿病教室は開かれ、各回でテーマが異なり内容も充実しています。ご都合の良い方は是非、ご参加ください。

正しい知識を身につけ、健康な体を保ちましょう！

(圓城寺)



高齢者における腰と膝の慢性の痛みについて

整形外科 古賀 隆弘

腰も膝も関節として動く部分ですが、長年、ゆがんだ、がたついた状態で使っていると、変形がどんどん進行して、痛みの原因となります。それでは、具体的に見ていきましょう。

腰の痛みの主な疾患には **A 骨粗鬆症（圧迫骨折）**、**B 変形性脊椎症**、**C 腰部脊柱管狭窄症**があります。

Aは女性が多いのですが、骨がもろくなって、折れやすくなっているために痛みを生じます。薬以外で、骨を強くするためには、骨を刺激する適度な運動が大切です。

Bは重労働で腰に無理をしたり、生活習慣で腰をひねったりすると、腰の関節や椎間板にアンバランスな力がかかり、内部の傷から炎症を起こし変形が進行していきます。予防的には薬以外で、腰を安定化することがポイントで、腰椎ベルト(コルセット)着用や、腹筋、背筋の筋力トレーニングが大切です。例えば、仰向けに寝て、おしりを持ち上げる動作を繰り返すと効果的です。

CはBの進行で、神経の通り道が狭くなった状態で、下肢のしびれ、痛みを生じます。腰を反らすと痛みがひどくなったり、長い距離を歩けなくなります。薬以外では、Bと同様です。

膝の痛みの主な疾患は **D 変形性膝関節症**です。日本人の場合、多くが女性で、O脚になります。膝の周囲の筋力が弱いことが主な原因ですが、歩くときに膝が左右にガタつき軟骨に傷がついて炎症を起こし関節変形が進行していきます。これもBとよく似ています。薬以外で、予防するには膝を支えるサポーターとか膝の筋トレです。例えば、足首に1kgのベルトを着けて、膝をゆっくり曲げ伸ばしを繰り返すだけで効果があります。

膝にしても、腰にしても適度な筋トレ、筋ストレッチなどの運動が大切です。

痛みが持続するときは、整形外科を受診されて、どういう疾患かはっきりさせることも大切です。

以前は関節軟骨は再生しないと言われていましたが、最近では関節の動きによって、関節液の循環が良くなると、軟骨が動きに沿って自然再生することが知られています。ただ年単位の経過が必要な様です。

健康に関して、日進月歩で、NHKのためしてガッテン、KBCのたけしの健康エンターテインメントなど、新しい知見がテレビで見れますから、是非参考にしてください。



今年も職場体験で中学生が来院

2月14日～16日に来院したのは比良松中学校の2年生の生徒さんたちです。みなさん真剣な態度で院内業務に挑んでいました。

訪れた生徒さんにそれぞれ感想をお聞きしました。



■3日間の体験を通して1番印象に残ったのは、リハビリテーションの事です。ある患者さんに「週に何回くらい来ているのですか？」と聞くと、「毎日ですよ」と言われました。私はもともと介護やリハビリの仕事に興味があるので、この仕事にもっと興味を持ったし、この患者さんにも早く良くなってほしいと思いました。

(2年・浦 彩夏)



■3日間で色々な見学や、実際に体験をしたりして初めて見る目が変わりました。沢山のことを知って、勿論ずっと立ちっぱなしできつかったし、腰も痛くなったりしました。でも、患者さんの笑顔を見たり、「ありがとう」と言ってもらえて辛いことだけでなく、楽しいことや嬉しいことも沢山ありました。3日間で、よりこの仕事に興味を持ちました。

(2年・松田奈々)

■職場体験をする前は、看護師という職業に対して大変そうと思っていました。体験してみると大変な部分もあったけど、私は患者さんと話していて、私の話で患者さんが笑顔になってくれることが嬉しかったです。

(2年・大熊桃花)

■あとかき

最近洋服のサイズが小さくなったような気がします。

シャツを着るときに肩周りなどが張ってきたような気が、また、ズボンを履くときにウエスト周りがきつくなってきたような気がします。

私が思うに肩周りは愛娘を抱っこし続けた事で出来た、上腕二頭筋・大胸筋・広背筋と思います。

ウエスト周りは、下腹部を中心に脂肪がついてしまいました…。

軽い運動等で脂肪を落とそうと奮闘中ですが、お腹周りの脂肪はなかなか落ちてくれません。もしかしたら、非常事態を想定しているのか？一向に落ちる気配がありません。

夏には愛娘とプールに行きたいので、それまでに必ず痩せたいと思います！

脂肪の話はこれくらいにして…、今後とも「健生くらぶ」をよろしくお願い致します。

古賀 博

医療法人 社団 医王会 朝倉健生病院

広報誌 **健生くらぶ** VOL.20

発行日：平成24年4月11日

診療科目：

診療時間：

発行者：朝倉健生病院

内科/呼吸器内科/循環器内科/消化器内科

平日 8:45～17:30

広報編集員：佐々木・月俣・黒田

糖尿病内科/腎臓内科/脳神経内科/神経内科

土曜日 8:45～12:30

古賀・空閑・重富

外科/消化器外科/肛門外科/整形外科

休診日：

圓城寺

脳神経外科/形成外科/胸部外科/心臓血管外科

日曜・祝祭日

皮膚科/泌尿器科/泌尿器科(人工透析)

人工透析内科/人工透析外科/放射線科

※急患は年中24時間対応いたします

耳鼻咽喉科/眼科/リハビリテーション科